

2024年7月4日

報道関係各位

公益財団法人 日本製鉄文化財団

紀尾井ホール開館30周年に際しての記念施策について

公益財団法人 日本製鉄文化財団(代表理事:船越弘文 東京都千代田区)は、紀尾井ホール開館30周年にあたり、記念ロゴマーク、およびブランド・メッセージを制定しました。さらに、2025年4月からホール名称が「日本製鉄紀尾井ホール」となりますので、お知らせします。

また、2024年9月から2025年7月末までを紀尾井ホール開館30周年記念期間と位置づけ、ホール内外に30周年記念ロゴマークとブランド・メッセージによる装飾を施すほか、広告等を通じて記念ロゴマークとブランド・メッセージを展開していきます。

●経緯

1995年4月に開館した、紀尾井ホール(ホール総称、クラシック専用800席の「紀尾井ホール」と邦楽専用の250席の「紀尾井小ホール」の2つのホールを持つ)は、2025年4月に開館30周年を迎えます。2025年8月からの大規模リニューアルを控えているため、2024年9月から2025年7月末までを開館30周年記念期間と位置付けています。

●30周年記念ロゴマーク

30周年記念ロゴマークの万華鏡のような親しみやすいやさしい色合いは、演者たちそれぞれが舞台上で表現するさまを表しています。それと同時に、たくさんの方が紀尾井ホールの舞台上でさまざまな感動を残してきた30年の時の流れと、これからもその感動が続いていく未来を表しています。



●ブランド・メッセージ

紀尾井ホールは、桜の木々に囲まれて建つこの場所を「桜の園」になぞらえ、「いざ、桜の園へ」を掲げて、1995年に開館しました。数多くのアーティストがこの「桜の園」を目指し、集い、華麗な音の花を開かせてきました。豊かな音楽芸術に彩られるようになった「桜の園」から、新しい波を起し発信性を高めていきたい ―― そのような思いを込めてこのブランド・メッセージを定めました。

響け、
桜の園から

このブランド・メッセージ「響け、桜の園から」を合言葉に、このホールの「第2章」へと進んでいきます。

●展開

30周年記念ロゴマークは、公演チラシをはじめとする各種印刷物に掲載するほか、ホール内の装飾としても展開してまいります。また、ブランド・メッセージは、30周年記念ロゴマークとともに、紀尾井ホールの広告に使用して、当ホールのブランド価値向上を図ってまいります。

●ホール名称変更(ホール所有:日本製鉄株式会社)

2025年4月よりホール名称が「日本製鉄紀尾井ホール」(総称・クラシック用ホールの呼称)となります。

また、邦楽用の紀尾井小ホールについても「日本製鉄紀尾井小ホール」となります。

新しいロゴ・イメージはつぎのとおりです。



日本製鉄 紀尾井ホール

(日本製鉄紀尾井ホール ロゴマーク)



日本製鉄 紀尾井小ホール

(日本製鉄紀尾井小ホール ロゴマーク)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本製鉄文化財団

広報:遠藤 03-5276-4670(直通) endo@kioi-hall.or.jp

担当:小佐々 080-7216-8203(直通) kosaza@kioi-hall.or.jp